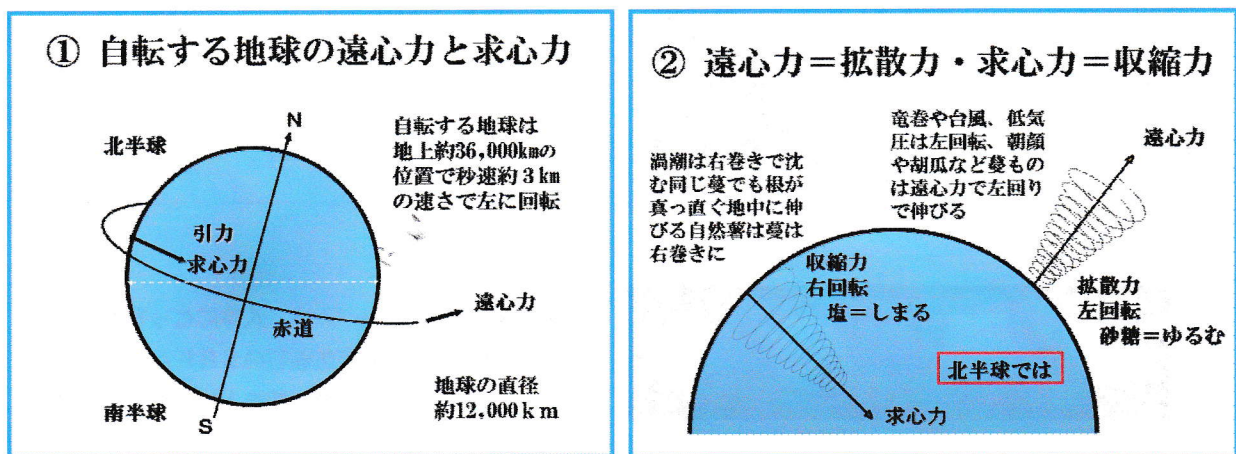


5角<拡散>6角<収縮>乱流のお話

この世の森羅万象（しんらばんしょう）は、すべて、宇宙リズムの投影（とうえい）現象に過ぎないと思う。目に見えない波長と波動の共鳴が生命を創造し、その振動は、常に、左・右、大・小、様々な回転を伴い、膨張（ぼうちょう）収縮（しゅうしゅく）の乱流を繰り返しながらバランスを整えている。

例えば、北半球で夏から秋に発生する台風やハリケーンは、左巻きの上昇気流を発生させることは周知の事実。しかし、南半球のインド洋や太平洋で起こるトロピカルサイクロンが地球の自転の影響で右巻き回転であることは意外と知られていない。

この様に、地球の自転の影響は、動・植物にも一定の法則があり、北半球では、遠心力=左巻き・拡散（ゆるめる）・引力=右巻き・収縮（しめる）の力が働いている。





例えば、ツルもの植物の朝顔・きゅうり・へチマなどは、天に向かって左回転に伸びるが、その根が地下では浅く横に張ることは知られていない。逆に、地下深くステッキ状に根を伸ばす自然薯のツルは、地球の引力の影響を受けているので同じツルでも逆回転・右巻きに上昇する。そこで、自転による回転運動の影響とその因果関係を少し飛躍・実験・検証したのが、この拡散・収縮・乱流の研究である。（1985年より）

まず、植物の生態で興味深いことは、百合・水仙・チューリップなど、球根で植え付ける植物の花は=6枚花びら（6角形）が多いこと。また、左巻きに伸長するツルもの植物の花は=5枚花びら（5角形）の花がほとんど。そして、咲いたと思うと・すぐパッと花びらを散らす拡散の代表・桜も5枚花びら。そこで、回転運動は形にも反映しているのでは？・・・この単純な疑問がこの研究の動機となった。

まず、右巻き=収縮=6角形・・・左巻き=拡散=5角形という仮説をたてて、いろんなテストを重ねてみた。全く予想通りに多くの興味深いことが分ってきた。

最初は、6角形が密集した蜂の巣を調べた。外側が僅かに広く、奥にいくほど狭い6角錐なのに蓄えた蜜がこぼれない現象、これは単に、粘性や表面張力のみでは説明がつかない。そこで、蜂の巣の角度に近い6角形のガラスを探し、それに炭酸飲料のコカコーラを注いでみた。円筒形のガラスでは、シュワッシュワッと爽快な飲料水も全く泡が立たないから不思議。多分、6角形の収縮作用が影響していると予測できる。

さらに、球根類の赤玉ねぎの原形質も整然とした6角模様の構造であり、超微細な世界では、電子顕微鏡で見た小腸の絨毛の表面が、これまた6角形のタイル張り構造（収縮作用で栄養吸収）になっているから面白い。極めつけは・・・次のDNAの世界であった。

A (アデニン) T (チミン) C (シトシン) G (グアニン)、4つのタンパク質の構造がまた面白い。その組み合わせ・AとT=  ・CとG=  ・塩基 (6角) と糖質 (5角) の連鎖が仮説を実証している。

DNAの設計図とRNAの干渉で生命が保たれている私たちの細胞にも、収縮・拡散の原理が絶妙に働いていることが分る。この生命発祥の原点とも言える5角 (拡散) 6角 (収縮) 理論のもと発明したのが・・・乱流発生用チップ (意匠権取得済み)。

このチップの原型を基にして、天然鉱石のSREパウダーを混入し、セラミックに進化させたのが、5角・6角、2種類のSRE/乱流チップである。

③ 花びらでわかる収縮・拡散の力



花びらが6枚の花は球根が多い・収縮力花持ちが良い



パッと散る！桜の花びらは5枚・拡散力

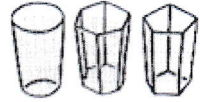


赤玉ねぎの根は原形質・6角形
根の絨毛も6角のタイル模様

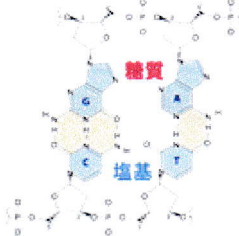
④ 5角形=拡散・6角形=収縮の謎

どんなに高級なワインも飲むグラスで味が変わる
フランス・バカラのCM

3種類のコップでジュース、コーラなど、飲み分けてみれば食感の変化がわかる。



DNA=4つのタンパク質
アデニン(A) グアニン(G)
シトシン(C) チミン(T)





意匠第 1390916 号 意匠第 1370663 号

このSRE乱流チップは、人体にとって優しい超微量の磁性を発する天然鉱石のSREパウダーを50%混入し、1300℃で焼き上げたセラミック

2種類のSRE/乱流チップは、5角=拡散 (ゆるめる) 波動はリラックスに・・・6角=収縮 (しめる) 波動は瞬発力が必要なときに、単体で握りしめると効果が分かる。また、この2種類のセラミックを複数個ずつ組み合わせて、日常生活にもいろんな活用が出来る。勉強・健康・料理・趣味・スポーツなど、お試し下さい。

SRE/乱流チップの組み合わせ

| 分類 | A = 5角形(拡散) | | B = 6角形(収縮) | | 割合 |
|----|-------------|--------|-------------|--------|---------|
| | 数量 | 数量 | 数量 | 数量 | |
| NO | | | | | A : B |
| 1) | 1個 | 5×1=5 | 2個 | 6×2=12 | 1 : 2.4 |
| 2) | 2個 | 5×2=10 | 3個 | 6×3=18 | 1 : 1.8 |
| 3) | 3個 | 5×3=15 | 5個 | 6×5=30 | 1 : 2.0 |
| 4) | 0個 | 0 | 5個 | 6×5=30 | 収縮のみ |
| 5) | 3個 | 5×3=15 | 0個 | 0 | 拡散のみ |

※ 試薬原子 C₁₀・フラレンのバランス値 3) を中点とみなす

- 拡散性のエネルギー比較・・・ 1) < 2) > 3) > 1)
- 収縮性のエネルギー比較・・・ 1) > 2) < 3) < 1)

比率を整数する
5×12=60
6×20=120
60:120=1:2



5角形が12個
6角形が20個
で球体になる！